



第三次産業 大巾に増加

産業別の就業人口(第四図)では、調査ごとに第一次産業の大巾な減少が目立ち、昭和三十五年で過半数であったものが約三分の一と落ち込んでいます。これとは逆に第二次、第三次産業は増加して

いることがわかります。これは昭和三十年代後半からの高度経済成長による商工業の進歩と、農機具の大型化に伴う農業の余剰労働力が第二次、第三次産業に流れたものと考えられ、第二次産業で三・六パーセント、第三次産業で四・九パーセントと、それぞれ昭和四十五年より増えていることがわかります。



夫婦そろっての長寿村一は 小林清一郎(夫) 月満(妻)

夫清一郎さん(83才) 妻マツさん(82才)

第4図 産業別就業人口

(年)	第一次産業	第二次産業	第三次産業	合計
35	1,173 (54.0%)	412 (19.0%)	587 (27.0%)	2,172人
40	928 (46.2%)	482 (24.0%)	599 (29.8%)	2,009
45	859 (40.8%)	572 (27.2%)	675 (32.0%)	2,106
50	646 (32.3%)	615 (30.8%)	738 (36.9%)	1,999



9月15日は敬老の日

お年よりを大切に!!

九月十五日は敬老の日です。この日は長く社会に貢献されたお年よりに感謝し、敬まう日です。もちろん、この日だけでなく、一年中この気持をもってお年よりを大切にすることが大事ですが、特にこの日は家庭でも何か考えてみませんか!!

本村でのお年よりの代表から登場していただきました。

「無欲でなんでもよく喰べるのが秘けつ...」

「耳はすこし遠くなつて...」

それでもお元気でした。

みなさん本当にお元気でした。

村民憲章を募集!! 多数のご応募を

村では、庁舎建設を契機に「村民憲章」を制定することにいたしました。次の要領により、募集いたしますので多数ご応募ください。

一、憲章の内容
村と村民の発展、文化の向上、明るい家庭作り、健康と体力向上、善意と親切、相互協力など、住み良い明るい村づくりを主眼に各部別別に五章程度にまとめたもの

二、応募の〆切り
昭和52年9月30日まで

三、応募先
月満村役場総務課
(作例) 〓文化の向上の章
一、文化を高め、住みよい環境をつくりましょう。

補正予算(第三号)を議決

第五回臨時議会

八月四日に第五回臨時村議会が開かれました。議題は二件です。一、専決処分の承認を求めると、二、昭和三十五年国民健康保険税を七月に算定するため七月一日付で税率(所得割・資産割の定率と均等割額および平等割額)を改正した国民健康保険税条例です。三、昭和三十五年一般会計補正予算(第三号)を定めることについて、これは原案通り可決されました。これは才入出とも、九三〇二千円増額して予算総額が、六五〇三八〇千円となりました。

一、才入は、地方交付税の増加見込額、六八六千円、財産収入、四八〇千円、庁舎建設基金繰入金、二〇〇千円です。

二、才出は、庁舎建設費に二八〇千円、有害鳥獣駆除に、二二五千円、土木関係で五四五千円、(家屋等補償費三七〇千円、村道工事費五〇〇千円、其他八五千円)中学校で卓球部が全国大会に出場する費用で七〇〇千円、その他、一七〇千円です。

世帯あたり人口は減少 更に核家族化

村の総世帯数は、昭和45年比で二・ニパーセント増加し、七百八十九世帯となりました。

一世帯あたりの平均人口は、昭和40年の五・二三人、昭和45年の四・九七人と減少し、昭和50年には四・六二人と更に減少しており、どこの市町村でも見られる核家族化が本村でも進んでいるのがわか

人口は一八四人減少

第三次産業がトップに

昭和五十年十月一日現在で行なわれた国勢調査の結果が、このたび総理府統計局から公表されましたので、月満村の姿を概観としてお知らせします。

人口は 四・八%減少

村の総人口は、昭和25年を最高に、年々減少してきましたが、対45年比でも従来より緩やかに減ったものの、この傾向は続き、三千六百四十九人となり、百八十四人(四・八パーセント)の減少となっております。(第一図)

